



みんなで楽しく勉強

「Google for Education パートナー自治体 八雲中学校 Chromebook活用教室」

3月7日(火)に八雲中学校においてGoogle から講師を招き、「Google for Education パートナー自治体 八雲中学校 Chromebook活用教室」が行われました。

4月から同校3学年が1人1台の学習用端末chromebookを活用し、それぞれのテーマについて追究する「探究活動」が開始されるにあたり、これに備え、2年生の段階で、正確かつ安全な情報の集め方、収集した情報をまとめる方法などを学習しました。

この活用教室では、「情報の整理の仕方」「見やすいまとめ方」「伝える相手を意識した表現方法」について色づかいや文字の大きさ、字数、図の活用などについて具体的な方法を学びました。Googleの講師による斬新で、専門的な指導に、生徒たちは目を輝かせ、学んだことを生かしながらいプレゼンテーションを作り上げていました。



より良い社会の第一歩

八雲高校生SDGsを学ぶ～JICA国際協力出前講座～

自己のあり方と生き方を考えながら、社会や生活との関わりから問いを見だし、よりよい社会の実現を目指すとする態度を養うことを目的に、2月21日(火)八雲高校1年生が「総合的な探究の時間」において「北海道×SDGs～私たちに何ができる?～」をテーマに講話を受けました。

講師には、JICA海外協力隊としてアフリカマラウイ共和国への赴任経験をもつ札幌市在住の大山達也氏を招き、途上国の現地病院の栄養士として2年間活動した経験から、多様な価値観の存在や文化、価値観は違うけど人間として生きていることには変わりはないことなど、自らの経験から感じたことを生徒たちへ伝えていました。

生徒たちは、マラウイの食生活や日本との食の共通点、住んでいたところの環境はどうだったのかなどを質問し、異国の文化や環境に関心を寄せるとともに、この度の講話を今後の進路活動に活かしていきたいと話していました。

